



後期高齢者医療制度

「廃止」に向けみなさんのお力を！

後期高齢者医療制度が4月1日から始まりました。75歳以上と以下とを線引きし、保険料も医療内容も別立てにするというものです。保険料はこれまで加入していた保険より高くなる人が多く、医療内容もこれまでよりも範囲を限定したものにしようとしています。保険料への影響は75歳以上の方だけではありません。いわゆる現役世代の負担も大きく増やされています。後期高齢者医療は75歳以上の方だけの問題ではありません。医療そのものを根底から崩し、アメリカをモ

デルとした、お金の相談でしか受けられない医療に変えようとしていると言えます。現在、国会で廃止法案が参議院で野党提案によって可決されましたが、衆議院での成立は困難と見られています。この制度は小手先の見直しではなく廃止しかありません。大きな見直しをさらに広げるためにも、引き続き署名活動に取り組んでいきますので、ご協力をお願いします。



ずいぶん、ご無沙汰してしまい、しばらくぶりのニュースとなりましたが、お変わりありませんか。季節も寒い時期から一気に初夏へと進んでしまいました。

4月からは後期高齢者医療制度が始まり、ガソリン価格も衆議院での再可決のせいで値上げ、また値上げ……。多くの方の怒りが広がっています。怒りを力に代えて政治の流れを暮らし、いのち第一にしようではありませんか。

《6月議会の傍聴にお越し下さい》

6月定例市議会が、12日から始まります。補正議会となりますが、後期高齢者医療制度、それに伴う国民健康保険制度への影響、家庭ごみの有料化、農業問題、子育て支援など重要な問題はたくさんあり、粘り強い戦いが求められています。共産党議員団として力を合わせて6月議会に臨みます。ぜひ傍聴にお越し下さい。

《生活相談》

毎週木曜日 午後1～4時
森下さち子事務所 TEL 475-8122

こんにちは！ 藤井健太郎です

(ふじい けんたろう)

6月定例議会が11日から27日までの17日間を会期として始まりました。

一般会計の補正額は1億7千万円で、主なものは自動車専用道「那智勝浦新宮道路」の速度標識を気象に合わせて自動的に変更出来るシステムに5千4百万円、小中学校を地域住民が支援する体制づくりに2千3百万円、児童生徒の家庭問題に対応する体制づくりに2千7百万円、農産物出荷時に残留農薬検査を行った場合、安全認証を行う制度づくり1千万円などとなっています。また、和歌山市を含め紀の川流域の自治体に立地した企業に不動産取得税や償却資産税を免除する条例、子どもを虐待から守る条例、自治体に5千円を超える寄付をした場合に所得税・住民税が減額される条例や道路特定財源にかかわるものとして軽油にかかる暫定税率を10年延長する条例などが提案されています。

〔中国四川大地震のキャンパについて〕

5月18日、JR和歌山駅にて中国四川大地震での救援活動に役立ててもらおうと、宮支部のみなさんが街頭募金に立ち、1時間半で1万円余りが集まりました。共産党中央委員会へ送り全国からの分とあわせて中国大使館へ送られます。ご協力いただいた方、ありがとうございました。

6月19日（木）和歌山県高齢者運動連絡会総会

篠崎次男氏の講演

21日（土）年金・医療・消費税を考える集い
* お問い合わせ 市役所控え室 435・1113

* 今月のニュースは表面のみです *